

# 100 年前の松戸と園芸学部

横 井 政 人

昨年 10 月から 1 ヶ月間、園芸学部の前身 千葉県立園芸専門学校創設 100 周年を回顧して記念事業が盛大に行われました（花葉 2009 号掲載）。

学校の設立場所は戸定が丘の徳川家水戸邸に隣接しています（図 1）。この場所はもともとは松戸松龍寺の所有地でした。この地は松戸宝光院の栗山明高住職によりますと、小山から戸定が丘一帯の地主でありました松龍寺が、慶応 3（1867）年、政権の王政復古により寺の土地を国に寄贈することになり、ここを水戸徳川家（昭武公）が明治 17（1884）年に購入、戸定館を建設しました。初めこの水戸邸の土地を県立松戸中学校、私立松戸中学校が購入使用しましたが経営難で放棄、ここを県立園芸学校が購入することになりました。

ここでは園芸学部前身の園芸学校創立当時（明治 42（1909）年）の松戸の雰囲気をご地図 1、古地図 2 から感じてみたいと思います。

図 1 は千葉県立園芸専門学校設立 5 年後、大正 3（1914）年に千葉県立高等園芸学校と改称した頃の図で、徳川家水戸邸に隣接して示されています。今から 96 年前の地図になります。恐らく園芸学部が地図に書かれた最初のものと思われる。水戸邸のすぐ北側に元地主の松龍寺があります。今の角町は角丁になっています。ご覧のように常磐線の松戸駅が見られます。駅は明治 29（1896）年 に開設されました。ただ松戸ま

で電化したのは昭和 11（1936）年ですので、故小杉 清教授が卒業なさるまでは煙をはく列車だったわけですね。細い水戸街道の家並みには現在も営業中の関宿屋があります。学内では大正 4（1915）年に講堂が落成、現在大木になったヒマラヤスギもこの年に植えられました。他の大木のユリノキやトゲナシニセアカシアはもっと古く明治 43（1910）年にサンクガーデンに植えられています。

図 2 は松井天山による昭和 5（1930）年松戸写生図で、千葉高等園芸学校は描かれていますが、当時、戸定邸は非公開のためか山林になっています（右上）。この図には工学部前身の陸軍工兵学校が見られます。当時の常磐線は図のように市内で湾曲しています。駅の南側に見える赤松林は現在まったくありませんし、園芸学部構内には故安藤先生によると 200 本以上もあったという赤松は現在 2、3 本（？）しかありません。私の学生時代（昭和 29 年卒 -1954）でも東側は家並みがなく園芸学部までは蛙の音がうるさい田んぼ道でした。現在の聖徳大学近辺の丘には全山が山百合で溢れすばらしいものでした。今でも町なかには僅かですが歴史的な金町コカブ栽培が見られます。

まだまだ話題はつきませんが、松戸移転を止めた園芸学部にとって、以上の地図はますます貴重な資料となるに違いありません。

図 2  
松井天山による  
昭和 5（1930）年  
松戸写生図

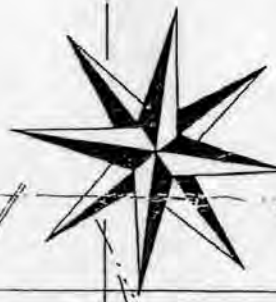


P42-43 図 1

大正 3 年（1914）に千葉県立高等園芸学校と改称した当時の古地図

# 町元内

## 川



至金所方面

至金所方面

高橋製粉場

松小學校

宮

高等園藝學校

千葉縣立

水戸邸  
子爵藤川武定

家

松神社

松戸屋

南林

# 松葉

# 江



浮

平

明  
村

松葉線  
松葉  
常

松葉市  
高等小學校

水戸方